

# さんようおのだ 議会だより

## 議員定数について — 2

まちづくり  
カンファレンス — 4

委員会レポート — 5

一般質問 — 8

視察報告 — 10





# 議員定数・ まもなく結論！

## ◆ 全員賛成で継続審査に

昨年9月末、市民団体から「議員定数を20人とする」直接請求が出され、10月臨時会で「議員定数を20人とする」条例が議案として上程され、特別委員会で審議した結果、継続審査となっていました。

このことについて12月定例会でさらに審議した結果、委員会では委員全員賛成で継続審査すべきとなり、本会議でも議員全員賛成で継続審査となりました。

## ◆ 意見交換会 34カ所開催

特別委員会では「4486の署名の重みは真摯に受け止めるが、市民の総意と言えるのか」「市民への議会についての情報が十分ではない」「しっかりと説明して意見を収集すべき」ということで、1月7日植生の福田自治会館を皮切りに、市内34カ所で意見交換会を開催しました。

## ◆ 3月議会までに結論を

特別委員会では、昨年4月に立ち上げ協議を続けている「適正な議員定数を検討する議員協議会」での合意事項など、これまでの議論を踏まえて、市民との意見交換会で出された意見を参考に、2月20日から始まる3月定例会までに「議員定数20」についての特別委員会としての結論を出すことにしています。



## ◎市民の関心度は？

意見交換会では、まずスライドを使って、議員定数についてのこれまでの経緯や特別委員会での議論について説明をしました。

各会場での参加者数の平均は10名前後で、参加者からは「説明を聞いてよくわかったが、こういった議会の情報が市民に伝わっていない」「市民運動が起きているのでもっと参加者がいるかと思ったが、意外に参加が少ない」「定数よりももっと重要な問題があるので、そちらに力を注いでほしい」など定数論議以前の問題に言及する意見が多く出ました。

議会としてはより多くの市民の皆様の参加をいただきたいと、1月4日配布の自治会便での班回覧、ホームページ、ポスターなどでお知らせしました。しかし、予想していたよりも参加者が少なく、議員定数についての関心度がうかがわれました。



## ◎参加者アンケートから



- 定数 20 人にこだわることはない。
- 合併して 8 年で議員定数を 4 回変更することはどうかと思う。現状のままでも良いのでは。
- 多くの意見が反映されるので多い方がいい。
- よくわからない。



- 議会運営が円滑にいく人数がよい。
- 20 人以下でよい。
- 人数ではなく議員活動である。
- 市民には見えないので削減すべき。
- 20 名にしてもレベルアップの保証はない。行政の無駄をチェックすることで元がとれるのでは？現状でよいと思う。



- 何人がよいかわからないが削減すべきだと思う。
- 市民と協働により削減しても、監視機能は保てる。
- 18 ~ 20 人に定数削減して報酬を上げ若い人が議員になるようにしては。
- 委員の専門性を高め住民の命や暮らしに関わる大切な議案等はせめて 1 委員会 8 人で審議してほしい。

# まちづくり カンファレンスを開催

平成 24 年 12 月 21 日に商工センターで山陽小野田市まちづくりカンファレンスを開催しました。議場での議員と執行部とのやり取りは、追及調やお願い調になったり、あるいは対立しているように見えたりもします。そこで今回は、議場を出てまちづくりという同じ方向に目を向けそれぞれの夢を語り合い、それが 10 年先 20 年先のまちづくりにつながることを願っています。



## テーマ 2 市民と議会と市長が ともに歩むために

地方分権がさらに進む中で、これからの執行部と議会とは、議会が行政を監視するといった機関対立型の関係だけではなく、共に政策提案をしていけるような新しい協働関係を構築すべき時代を迎えています。

議会は市民の声にもっと耳を傾けるべきだとの意見があり、議会からは、より多くの市民意見を聞くために、議会の方からすべての自治会に出かけて行って市民の声を聞く新たな仕組み作りを検討しているとの報告がありました。



## テーマ 1 私はこのまちをこうしたい ～夢を語る～

第 1 部では市長・議長以下 13 名が、持ち時間 2 分という限られた時間の中ではありましたが、持論を熱く語りました。

ほとんどの発言者が定住人口を増やすべきだとし、そのためには雇用の確保、幼時・学校教育や福祉を充実させ、高齢者が安心して住めるまちを作るべきだと語っています。

また、既存の観光資源を生かすだけでなくそれらを連携・回遊する仕掛けをすることで交流人口を増やすといった話や、山手線のように常時市内を循環するバスを走らせてはどうかなど、すぐにでも実現したい夢もありました。

## 開催を終えて・

政策形成過程において議会の意見を聞く機会があってもいいのではないかと、との市長の思いがあることを知り企画しました。批判や要望は言わない約束のもとパネリストの皆さんはそれぞれの夢を熱く語り合い、その周りをぐるりと傍聴者が取り囲む様は、新しい議場の形を示唆しているようにも見えました。

議会と執行部との新しい関係の構築に向けてさらなる努力を続けていきます。





# 委員会レポート

## ■ 民生福祉常任委員会

### 一般会計

#### ● 24年度補正予算（第6回）

#### ポリオ二次感染者への補償

**概要** 平成22年実施の生ポリオ予防接種により40代の父親に二次感染の疑いが持たれたので、予防接種事故調査委員会を設置しました。厚労省より被害認定されたので医療費と特別交付金505万6000円を増額するものです。

**主な論点** 「二次感染は空気感染か」に対して「生ワクチンを飲んだ子どもの腸内で毒性を發揮し経口感染となった。現在は生ワクチンから不活性ワクチンに切り替えられている」との回答が、「接種してから感染までの期間は」の問いには「2～3週間くらい」との回答がありました。また、「補償内容は」に対して「医療費は実費、年金のような特別手当が年額216万円支給される」との回答が、「二次感染者の状況は」の問いに「一時は歩行困難だったがリハビリに励み職場復帰されている」との回答がありました。

**結果** 賛成多数

### 特別会計

#### ● 24年度訪問看護ステーション事業補正予算

#### 利用者がいる限り事業継続

**概要** 前年度決算による繰越金501万2000円を増額したものです。

**主な論点** 「厚狭地区の公共施設再編により訪問ステーションはどうなるのか」に対して「利用者がいる限り事業は継続するので、再編時には場所を確保したい」との答弁があ

りました。

**結果** 全員賛成

### 請願

● 防犯灯のLED化および電気料金補助に関する請願書

#### 通学路の防犯外灯への助成を！

**概要** 通学路に設置されている防犯灯の電気料金補助と防犯灯のLED化に伴う助成措置を新設してほしいというものです。

**主な論点** 「厚狭北部地区の防犯灯維持管理の実態は」に対して「4自治会までの約4キロに31基の防犯灯を設置し36戸が電気料など維持費を負担している」との回答がありました。

生活安全課への質疑は「市内全域と通学路の防犯灯の設置数は」の問いに「市内に5200灯、通学路関係分は1840灯で、自治会と自治会の中に設置されているのは100灯程度」「LED化に必要な費用と補助基準は」の問いに「LED化は新設でなく修理で対応する。設置費用は3万1000円から4万7000円くらいになるが、補助制度の見直しが必要となる」との答弁がありました。

**結果** 全員賛成



LED防犯灯

# 委員会レポート

## ■ 産業経済常任委員会

### 一般会計

#### ● 24年度補正予算（第6回）

#### 議会の事業評価を反映

**概要** 今回の補正は、歳入では、河川しゅんせつ土等の搬入量の増加で有帆緑地残土処分場手数料が大幅に増えたため1100万円増額するものです。歳出では、土地開発公社への利子補給金で837万4000円の減額、また小規模土木事業助成金で1000万円の増額が主なものです。

**主な論点** 土地開発公社への利子補給金の減額根拠とメガソーラー事業の受け入れについて質問があり「小野田・楠企業団地の8区画を、山口宇部空港ヘリベース被災時の代替基地として県が購入したことで借入金と利子が減額となった。メガソーラー事業は雇用の創出につながらないので誘致しない方針であり、用地取得奨励金の対象にならないので採算性の面で難しい」との回答でした。

「小規模土木助成の待機件数は何件あるのか、また1000万円の増額で何件くらい解消できるのか」との質問に対し「現在83件の待機がある。毎年40件程度の助成をしているが申請はそれ以上あり、3年待ちのケースもある。10件から12件を解消できればと考えている」との答弁がありました。なお、「9月議会の決算審査特別委員会による事業評価において指摘されたことを重く受け止めた結果の今回の補正である」との答弁もありました。

**結果** 賛成多数



工事現場

### その他

#### ● 労働会館の指定管理者の指定

#### 連合地域協議会に決定

**概要** 山陽小野田市労働会館の指定管理者である連合山口中部地域協議会の指定期間が平成25年3月31日で満了するため、公募による選定の結果、引き続き同協議会を3年間指定管理者に指定しようとするものです。

**主な論点** 指定管理の相手方が連合山口山陽小野田地域協議会から連合山口中部地域協議会に変わっているが、これは組織の変更があったのかという質問があり「名称の変更である。主たる事務所は山陽小野田市にあり、組織の実態は変わっていない」との答弁がありました。

「これまで3年間の事業評価はどのような項目について、誰が行ったのか」との質問があり「評価項目は、管理運営方針、管理運営体制、利用者の状況、収支状況の4項目でいずれも適正に運営されており結果はA評価である。また評価は、担当課において行った」との答弁がありました。

**結果** 全員賛成



# 委員会レポート

## ■ 総務文教常任委員会

### 特別会計

#### ◎ 24年度小型自動車競走事業補正予算(第2回)

#### 競走事業収入の減少

**概要** 歳入歳出予算額をそれぞれ13億4679万2000円を減額し、総額を95億2434万4000円とするものです。

**主な論点** 補正の歳入で前半の実績と、それ以降の予想を見込んで8%減で組み直したことについて「8%減で良いのか」との質問に対し「実績からみると20%減くらいになる。しかし後半には多くの大型レースの予定、電話投票のサービスの強化などの工夫、新しいファンの呼び込みなどで8%減で計上した」との説明がありました。包括的民

間委託契約先の日本トーターとの25年度契約更改に関し「契約はどうなるのか」の問いに対し「随意契約ということで、日本トーターと話を進めている」「市長が11月の上京の際に先方に会った。市長からは12月中旬に先方から契約素案が送られてきて、それを検討すると言われている」との説明がありました。このことに関し市長に説明を求めたところ「12月中旬に先方から届く案を内部で検討し、必要なら対案を先方に示す。次の契約の輪郭はまだ明確ではない。市への収益保証分1億1000万円を払ってくれるかどうかわからない」との説明がありました。

**結果** 全員賛成

## ◎ 議案に対する議員の賛否状況

12月定例会において、議案等26件を審議し、賛否の分かれた2件について掲載しています。そのほかについては、全員賛成で可決しました。全議案の審議結果は、市議会ホームページに掲載しています。

平成24年12月定例会 議案の審議結果	議決結果	議員名																						
		石田清廉	伊藤武	伊藤實	岩本信子	衛藤弘光	江本郁夫	大井淳一朗	大空軍治	尾山信義	小野泰	河野平男	河野朋子	下瀬俊夫	硯谷篤史	高松秀樹	中島好行	中村博清	平原廉	松尾数則	三浦英統	矢田松夫	山田伸幸	吉永美子
平成24年度山陽小野田市一般会計補正予算(第6回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—	/	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
平成24年度山陽小野田市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—	/	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○

※表の見方 ○：賛成 ×：反対 —：棄権又は欠席  
尾山信義議員は議長であるため賛否の結果はありません。



# 一般質問

## 給食問題、再度協議会の立ち上げを

河野 朋子 議員

**問** 給食施設について、1センター、2センター、親子方式、自校方式、直営、民間委託など、現在さまざまな試算がされている。9月議会で市長は「試算は市民に公開する」と答弁されたが、この試算をもとに再度市民を交えた協議会を立ち上げて検討してはどうか。

**答** 今の段階では内部でも協議できない、市長とも協議できない状況である。合意形成をどのようにするかは、教育委員会内部また市長とも協議して考えたい。



## 第一次市総合計画の進捗状況は

石田 清廉 議員

**問** 総合計画は5年を経過したが、5つの基本目標の進捗状況、評価と今後の課題は何か。また市民アンケート、市職員のアンケートの結果をどのように受け止めているか。

**答** 指標を達成した施策もあり計画どおり進んでいる。今後も最終年度に目標達成を目指す。また市民から子育て、防災、地域活性化など多くの意見をいただいた。意見や提案は計画の見直しや市民サービスの質の向上に生かしたい。



## 定期借地権設定用地へ市有地提供を

平原 廉清 議員

**問** 厚狭駅南の市有地を定借用地として活用できないか。市民の定借への理解を高めることと駅南の活用の呼び水となり、一石二鳥である。また民有地への定借活用のセミナーを市で開催できないか。

**答** 定借は市内部で検討はしている。原則は売却であるが、売れないものも多くあるので定借での活用を委員会で諮りたい。セミナー開催は、本市では定借は検討段階であり、実際もないし効果の検証もしていないので現段階では市が実施する計画はない。



厚狭駅南の民有地

## 若者の政治参加について

中村 博行 議員

**問** 期日前投票所を若い人が多く集まる小野田地区ではサンパーク、厚狭地区は丸久など大型ショッピングセンターに設置することについて、前回の質問からどのように研究・検討されたか。

**答** おおむね可能だが、投票の秘密保持、投票所内の秩序保持、静穏の保持、突然の選挙への対応、投票箱や投票用紙の保管・管理、システムの運用等にも懸念があり、期日前投票所の増設予定は当面ない。



# 一般質問

## ひとまかせにするの？

吉永美子 議員

**問** 江汐公園を市の観光資源にするために提案する。来年度から指定管理者制度を導入予定だが、この公園を活用して交流人口をふやすようにするため、庁内外のメンバーで構成するプロジェクトを立ち上げるべきではないか。

**答** 指定管理者の創意工夫による利用者サービスや満足度の向上に大いに期待している。今後は、指定管理者との協働により江汐公園の利活用が進むようにしていく。



観光資源の  
要となるか！

## 給食センター計画の白紙撤回を

岩本信子 議員

**問** 学校給食センター基本計画のパブリックコメントでは、センター化反対意見が多いが白紙に戻す考えはないのか。

**答** ドライシステムによる安心・安全の実現可能性がポイントだ。多くの反対意見は、真摯に受け止める。考え方を理解してもらうには経費面の詳しい試算が必要と判断し、センター1カ所または2カ所、親子方式8カ所、自校17カ所の建設費と20年間の管理運営費、さらに調理業務の直営と民間委託を試算し、その結果を市長に報告する。



歴史ある  
高千帆小学校給食

## 市長の弁護士活動に疑問！

下瀬俊夫 議員

**問** 選挙で選ばれた公職の市長は、弁護士活動に制約があるのは当然。市民間のトラブルの一方の代理人や議会会期中に公判に出席するのはおかしい。無償の弁護士活動は寄附行為で公職選挙法違反ではないか。

**答** 365日が公務というのは2期が限界。できれば後継市長を見つけたい。会期中の公判は日程がすでに決まっていたものだ。無償代理人契約は宇部の企業であり公選法違反ではない。



山口地裁宇部支部

## 将来へ安心できる介護体制を

山田伸幸 議員

**問** 現状でも在宅での介護は十分な体制となっていない。ましてや10年後はさらに高齢者が増えていく。早い時期の24時間看られる体制の確立が必要だが、他市で例のあるボランティアポイント制度を含め、市としての将来に向けての対策はどうか。

**答** 施設の方で介護ボランティアポイント制度を進めている。今後、在宅へ広めていくことを考えている。将来的に、介護ボランティア制度というものを研究していきたい。



# 一般質問・視察報告



## 子ども医療費無料化制度の拡充を

中島 好人 議員

**問** 子育て世代にとって、子どもの医療費の負担軽減は、安心して子どもを育てる上で切実である。また、少子化対策、若者定住対策としても有効であることから全国的に、中学校卒業まで医療費無料が主流となっている。県内でも、すでに10市が独自助成を行い毎年充実を図っている。今年度も山口、防府、光、長門市の4市が新たに拡充している。実施に踏み出すべきである。

**答** 山口県内13市の中で恥ずかしくない位置を占めたい。

◆乳幼児医療費助成事業		
市名	H24年度	
	所得制限撤廃	対象年齢拡大
下関	3歳未満児	
宇部		小学校3年(1割助成)
山口	6歳未満児(H24.10~)	
防府	就学前(H24.8~)	
下松	3歳の年度末	
岩国		小学校卒業
光		高校卒業(入院)(H24.4~)
長門	就学前(H24.8~)	
美祇	3歳未満児	
周南	就学前(入院・歯科)	
	3歳未満児(通院)	

お知らせ

## 一般質問を傍聴しませんか

### 本会議の傍聴

本会議は、どなたでも傍聴できます。定員は報道関係者を除き35人で、他に車椅子(2人)の方のための傍聴席もあります。入口の受付で住所、氏名、年齢を記入していただきます。なお、3月定例会の日程は最終ページをご覧ください。



本会議場の傍聴席

## ◎総務文教常任委員会

視察者 ■ 伊藤 實 河野朋子 伊藤 武  
河崎平男 高松秀樹 中島好人  
中村博行

視察日 ■ 11月26日

場 所 ■ 下松市

<下松市市民交流拠点施設

「ほしらんどくだまつ」>



①市民と行政の協働による施設づくりの具体的な取り組み方法

- ア 施設利用者対象アンケート
- イ 周辺自治会長対象アンケート
- ウ 市民ワークショップ
- エ 市民団体ヒヤリング
- オ パブリックコメント

②基本構想から整備事業完了までの工程

③カフェスペースの設置状況

④市民活動室のあり方

⑤図書館の運営状況、利用状況

⑥今後の課題



③カフェスペース



⑤図書館入り口



# 視察報告

※視察報告の詳細については、市議会ホームページに掲載しています。

## ◎民生福祉常任委員会

視察者 ■大井淳一郎 矢田松夫 石田清廉  
岩本信子 小野 泰 下瀬俊夫  
三浦英統

視察日 ■11月19日～21日

### ＜東京都武蔵野市＞

- ①高齢者の地域密着型の在宅介護サービス
- ②NPOなどによるテンミリオンハウス事業
- ③地域の有償ボランティアによるレモンキャブ事業
- ④24時間対応型訪問介護・看護サービス事業

### ＜長野県茅野市＞

- ①保育所の民営化について

### ＜長野県塩尻市＞

- ①公募市民による男女共同参画の啓発
- ②男女共同参画推進団体に対する補助制度(事業の2分の1を補助)

### ＜東京都清瀬市＞

- ①NPO法人「子育てネットワーク・ピッコロ」によるファミリーサポート事業



清瀬市にて

## ◎産業建設常任委員会

視察者 ■衛藤弘光 松尾数則 江本郁夫  
硯谷篤史 山田伸幸 吉永美子

視察日 ■11月12日～14日

### ＜香川県高松市 丸亀町商店街再生事業＞

- ①再生に成功した秘訣
- ②大型ビルの活用状況
- ③住民の動態状況



にぎやかな丸亀町商店街

### ＜京都府京都市 桂川の小水力発電＞

- ①小水力発電機の設置状況
- ②費用対効果



小水力発電を視察

### ＜大阪府泉佐野市 公共施設の屋根貸し事業＞

- ①公共施設の屋根を民間事業者へ貸し出し太陽光発電をさせるもの
- ②耐震基準は満たしているのか
- ③公共施設の目的外使用とならないか

## ◎本会議のインターネット中継をご存知ですか？

市議会では、多くの市民の皆さまに市議会の状況をご覧いただくため、本会議のすべての映像をインターネットで配信しています。一般質問だけでなく、議案の説明、質疑、採決の様子もご覧いただけます。映像配信には、ライブ（生）中継と録画中継があり、録画中継は、ライブ中継終了後の約4日後（土日祝日を除く）から見るすることができます。

なお、本会議の映像は、市ホームページの中の市議会のページから視聴することができます。また、ライブ中継は各公民館でもご覧いただけます。

3月定例会をご覧になりませんか。



## ✿ 3月定例会会期日程（予定）

月 日	本会議
2月20日(水)	議案上程・説明
2月28日(木)	質疑・討論・採決
3月4日(月)	一般質問
3月5日(火)	一般質問
3月6日(水)	一般質問
3月21日(木)	質疑・討論・採決

※開会時間は午前10時です。

### ニュース

## 議会の改革度が上昇中です

### 早稲田大学マニフェスト研究所報告

議会の情報公開や住民参加など「改革度」についてアンケートし、平成24年のランキングを発表しました。当市議会は、前年を大きく上回り1371議会中64位（県内2位）にランクされました。

採点は「情報公開」「住民参加」「機能強化」の3つの観点に絞り、議会基本条例の制定や議会報告会の実施をはじめ、さまざまな取り組みが評価されました。

議会改革を進め、さらなるランクアップを目指します。



議会報告会を開催

## 編集室より



平成23年6月定例会の議会報告会から通算6回目となる平成24年12月定例会の議会報告会を終え、延べ500名を超える市民の参加をいただいています。

また議会基本条例に基づいた市民懇談会の申し込みも徐々に増えていますが、議会は自己満足することなく一步一步進めていきます。道のりはまだまだ遠いものですが今年もさらに邁進していきます。

### ◎広報広聴特別委員会

委員長 河野 朋子	副委員長 下瀬 俊夫
委員 石田 清廉	委員 伊藤 武
委員 硯谷 篤史	委員 高松 秀樹
委員 平原 廉清	委員 山田 伸幸



《表紙の説明》 議会の代表と市長部局の代表が議場から商工センターに場所を移し、山陽小野田市の未来のあるべき姿について、率直に語り合いました。市民約100人の傍聴者がありました。（関連記事：4ページ）